



# 講師 河野公昭氏

葛飾区伝統工芸士  
こののきみあき

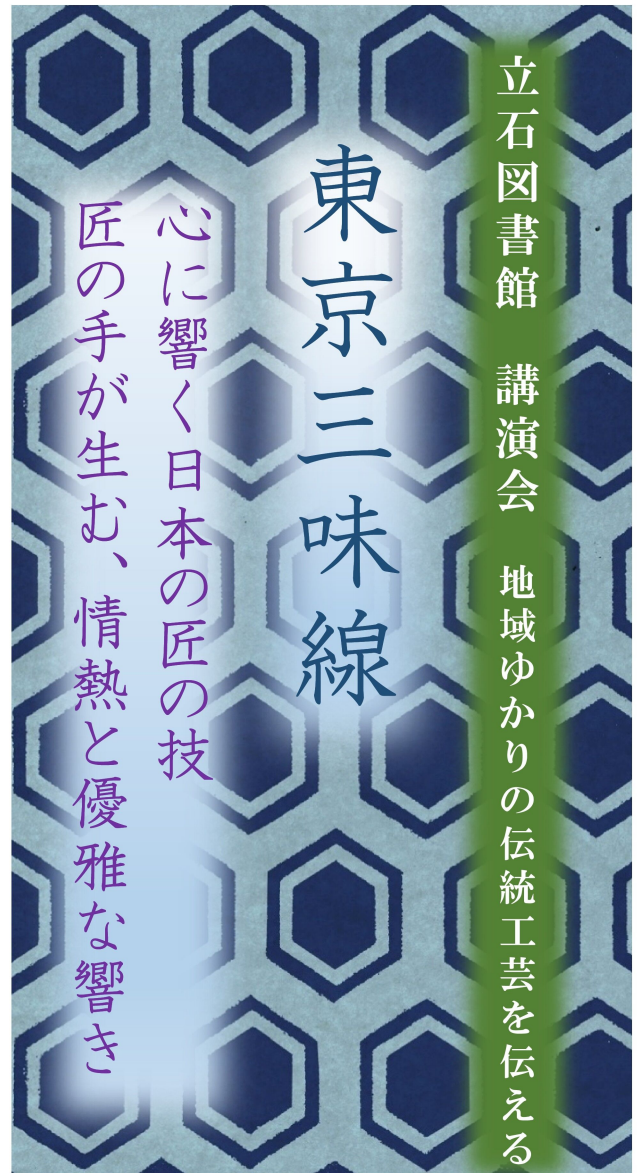
## ◆講師プロフィール◆

1958年台東区生まれ。大学卒業後、浅草の三味線職人に弟子入りし二十六歳で独立。平成2年、葛飾区東四つ木に自らの工房「三弦司きくおか」を開業。厳選した材料を使い、最上の品に仕上げる卓越した技術と製品は海外でも人気を呼んでいる。平成15年、葛飾区伝統工芸士認定。平成26年東京都優秀技能者（東京マイスター）受賞。

自らの技術を磨くだけでなく、葛飾区の弟子入り支援事業や小中学校への製作体験・弾き方指導等に積極的に参加。伝統技術の普及、継承にも貢献をしている。

### 東京三味線とは？

中国の三弦を起源とする三味線は、14世紀に琉球（沖縄）へ伝わり、室町時代末期に日本本土へ伝来。その後、日本古来の琵琶に代わる弦楽器として発展し、江戸時代には長唄や浄瑠璃などの邦楽とともに広く用いられるようになりました。これに伴い、三味線の製作技術も改良が重ねられ、日本の風土や音楽に適した独自の楽器として洗練されていきました。現代に受け継がれる東京三味線は、分業で製作する他地域と異なり、全工程を一人で製作することが特徴となっています。



日時 令和8年 8月23日(日)

午後2時～午後3時30分

(開場：午後1時30分)

会場 立石図書館 2階 研修室

対象 中学生以上

定員 40人 (事前申込 先着順)

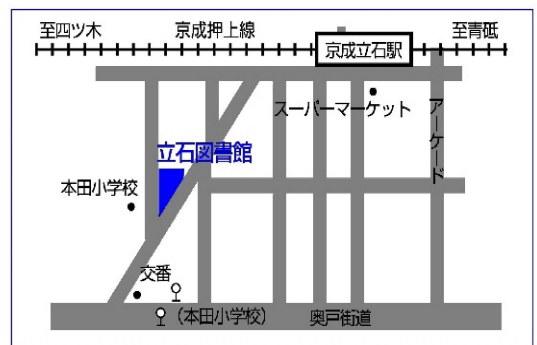
申込方法 立石図書館の電話か3階カウンターへ来館

(受付は午前9時から午後8時まで)

または、オンライン申請にて受付

受付期間 7月20日(月)午前9時から8月22日(土)午後8時まで

(定員になり次第、受付終了)



京成立石駅より徒歩5分



参加費  
無料

▲オンライン申請はこちらから